

(5) 在宅医療の相談対応について（平成 28 年 4 月～7 月実績）

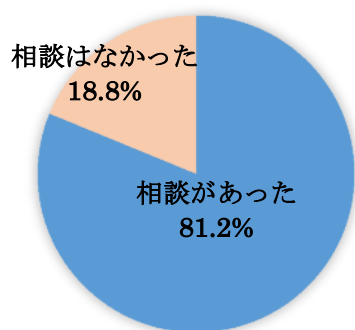
①在宅医療に関する相談件数・対象者の状態（居宅介護支援事業所）

平成 28 年 4 月～7 月中の在宅医療に関する相談は「相談があった」のは 13 事業所で 81.2%と、平成 25 年度の調査と同じであった。対象者の状態は、「ターミナルケアや緩和ケアが必要な患者」で「がん患者」が、16 人 23.5%で、「神経難病患者」が 16 人 23.5%、「精神疾患患者（認知症を除く）」が 7 人 10.3%、「上記以外の患者」が 29 人 42.6%であった。

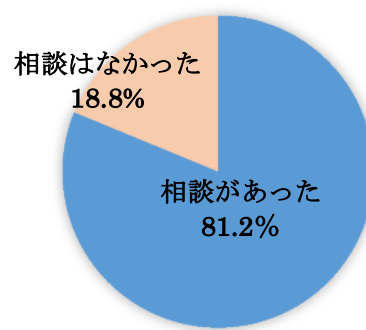
（単位：事業所）

| ○居宅介護支援事業所（対象：16 事業所） | | 今回の調査 | 平成 25 年度 |
|-----------------------|---------|------------|------------|
| | 相談があった | 13 (81.2%) | 13 (81.2%) |
| | 相談はなかった | 3 (18.8%) | 3 (18.8%) |

在宅医療に関する相談件数・対象者の状態（居宅介護支援事業所）
今回の調査



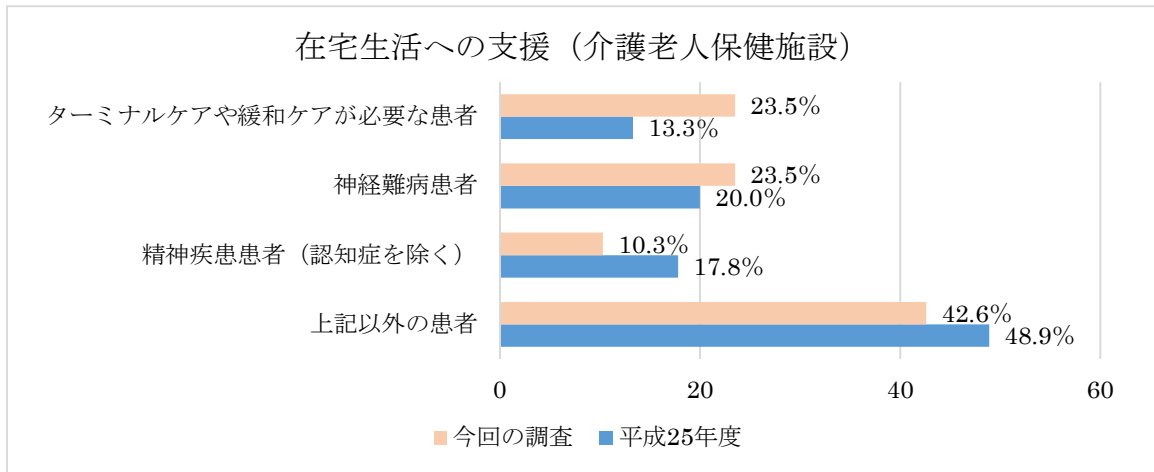
在宅医療に関する相談件数・対象者の状態（居宅介護支援事業所）
平成25年度



【対象者の状態】

（単位：人）

| ○居宅介護支援事業所 | 今回の調査 | 平成 25 年度 |
|--------------------|------------|------------|
| ターミナルケアや緩和ケアが必要な患者 | 16 (23.5%) | 6 (13.3%) |
| うち、がん患者 | 14 (87.5%) | 6 (100.0%) |
| 神経難病患者 | 16 (23.5%) | 9 (20.0%) |
| うち、人口呼吸器装着患者 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) |
| 精神疾患患者（認知症を除く） | 7 (10.3%) | 8 (17.8%) |
| 上記以外の患者 | 29 (42.6%) | 22 (48.9%) |



②相談元（居宅介護支援事業所）

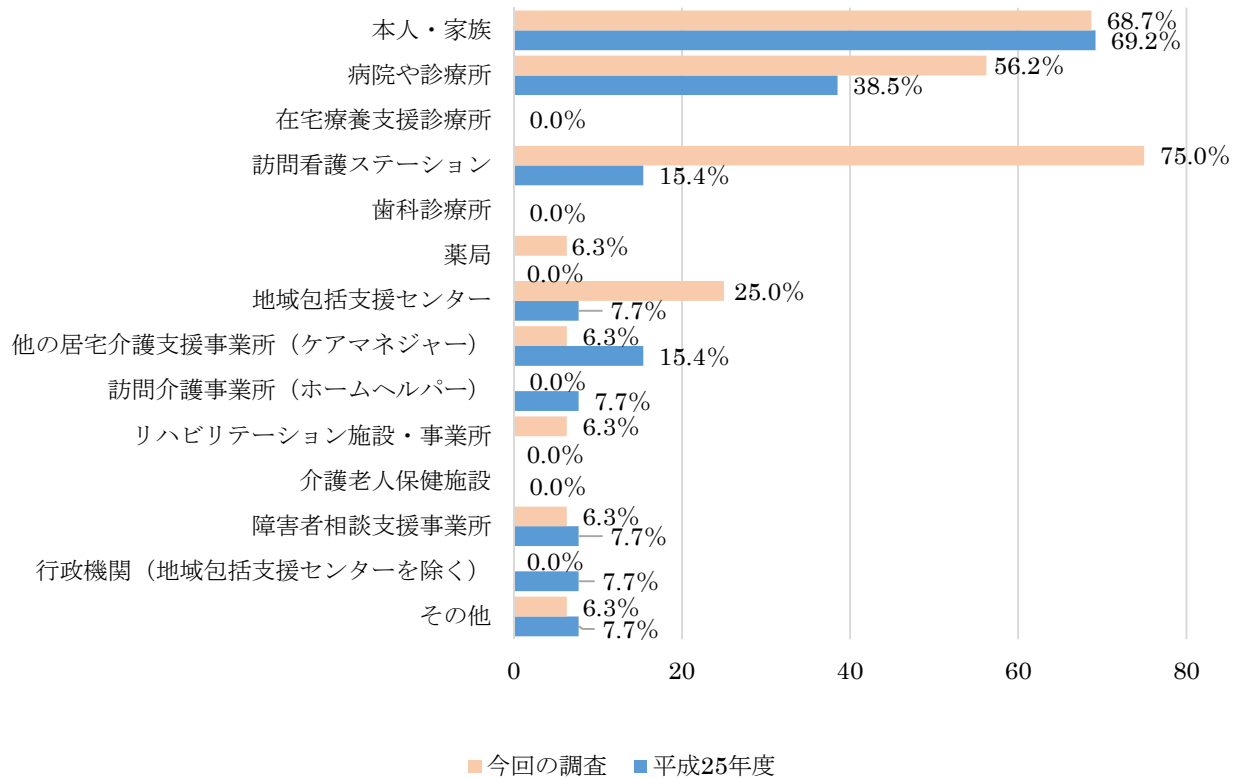
「訪問看護ステーション」からの相談が 75.0%で最も多く、次いで「本人・家族」68.8%、「病院や診療所」が 56.2%であった。

（単位：事業所）（複数回答）

| ○居宅介護支援事業所（対象：16 事業所） | | 今回の調査 | 平成 25 年度 |
|-----------------------|--|------------|-----------|
| 本人・家族 | | 11 (68.8%) | 9 (69.2%) |
| 病院や診療所 | | 9 (56.2%) | 5 (38.5%) |
| 在宅療養支援診療所 | | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) |
| 訪問看護ステーション | | 12 (75.0%) | 2 (15.4%) |
| 歯科診療所 | | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) |
| 薬局 | | 1 (6.3%) | 0 (0.00%) |
| 地域包括支援センター | | 4 (25.0%) | 1 (7.7%) |
| 他の居宅介護支援事業所（ケアマネジャー） | | 1 (6.3%) | 2 (15.4%) |
| 訪問介護事業所（ホームヘルパー） | | 0 (0.00%) | 1 (7.7%) |
| リハビリテーション施設・事業所 | | 1 (6.3%) | 0 (0.00%) |
| 介護老人保健施設 | | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) |
| 障害者相談支援事業所 | | 1 (6.3%) | 1 (7.7%) |
| 行政機関（地域包括支援センターを除く） | | 0 (0.00%) | 1 (7.7%) |
| その他 | | 1 (6.3%) | 1 (7.7%) |

在宅生活への支援（介護老人保健施設）

（複数回答）



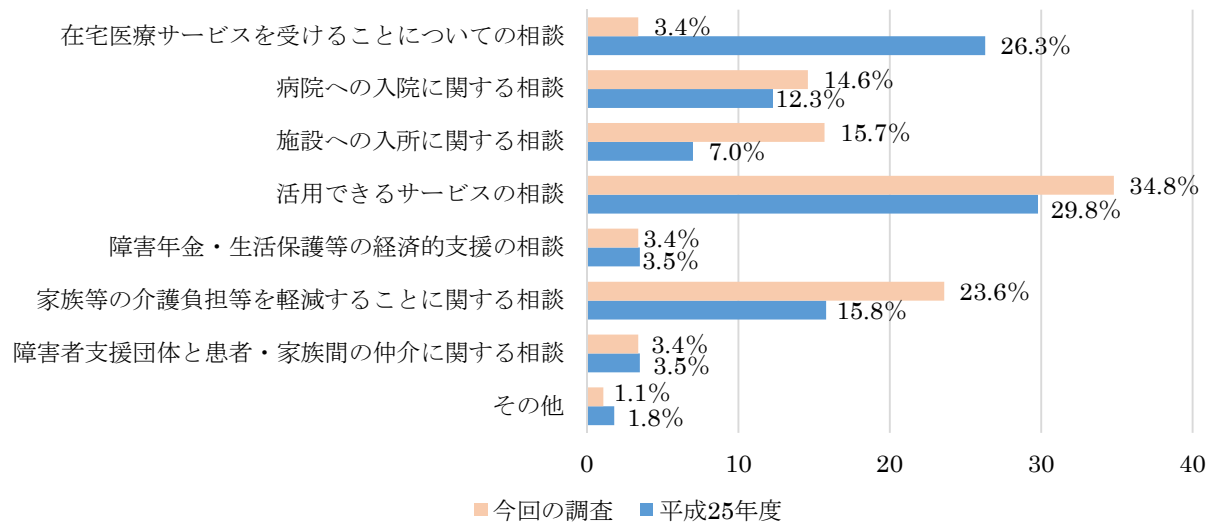
③相談の内容（居宅介護支援事業所）

相談内容は「活用できるサービスの相談」が平成25年度と同様で最も多く、31件34.8%で、「家族等の介護負担等を軽減することに関する相談」が21件23.6%、「施設への入所に関する相談」が14件15.7%、「病院への入院に関する相談」が13件14.6%と続いた。

（単位：件）

| ○居宅介護支援事業所（対象：89件） | 今回の調査 | 平成25年度 |
|-------------------------|-----------|-----------|
| 在宅医療サービスを受けることについての相談 | 3（3.4%） | 15（26.3%） |
| 病院への入院に関する相談 | 13（14.6%） | 7（12.3%） |
| 施設への入所に関する相談 | 14（15.7%） | 4（7.0%） |
| 活用できるサービスの相談 | 31（34.8%） | 17（29.8%） |
| 障害年金・生活保護等の経済的支援の相談 | 3（3.4%） | 2（3.5%） |
| 家族等の介護負担等を軽減することに関する相談 | 21（23.6%） | 9（15.8%） |
| 障害者支援団体と患者・家族間の仲介に関する相談 | 3（3.4%） | 2（3.5%） |
| その他 | 1（1.1%） | 1（1.8%） |

相談の内容（居宅介護支援事業所）



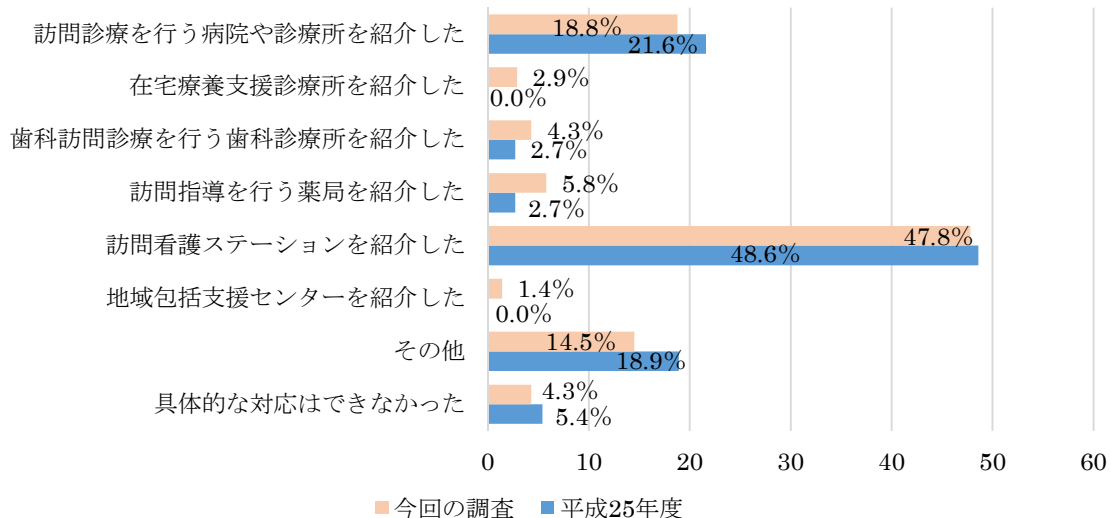
④相談への対応（居宅介護支援事業所）

平成 25 年度の調査結果と同様に、「訪問看護ステーションを紹介した」が 33 件 47.8%と最も多く、次いで「訪問診療を行う病院や診療所を紹介した」が 13 件 18.8%となっている。

(単位：件)

| ○居宅介護支援事業所（対象：69 件） | 今回の調査 | 平成 25 年度 |
|---------------------|------------|------------|
| 訪問診療を行う病院や診療所を紹介した | 13 (18.8%) | 8 (21.6%) |
| 在宅療養支援診療所を紹介した | 2 (2.9%) | 0 (0.00%) |
| 歯科訪問診療を行う歯科診療所を紹介した | 3 (4.3%) | 1 (2.7%) |
| 訪問指導を行う薬局を紹介した | 4 (5.8%) | 1 (2.7%) |
| 訪問看護ステーションを紹介した | 33 (47.8%) | 18 (48.6%) |
| 地域包括支援センターを紹介した | 1 (1.4%) | 0 (0.00%) |
| その他 | 10 (14.5%) | 7 (18.9%) |
| 具体的な対応はできなかった | 3 (4.3%) | 2 (5.4%) |

相談の内容（居宅介護支援事業所）



⑤対応できなかった理由（居宅介護支援事業所）

前設問において、「具体的な対応はできなかった」3件についての理由は、「その他」となっており、具体的には「本人・家族の利用希望がないため」という内容であった。

| ○居宅介護支援事業所 | 今回の調査 | 平成 25 年度 |
|---------------------------|-------|----------|
| 在宅医療を行う病院や診療所の情報がなかったから | 0 | 0 |
| 在宅医療の仕組みなどについて理解していなかったから | 0 | 0 |
| 相談内容から、在宅医療は困難と考えたから | 0 | 1 |
| その他 | 3 | 1 |

(6) 関係機関との連携について

①連携状況（病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所）

病院・診療所では「訪問看護ステーション」が8医療機関と最も多く、「緊急時に入院可能な病院や有床診療所」「居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」「薬局」「救急医療や高度医療を行う拠点的な病院」等との連携が多かった。前回の調査と比べて、「救急医療や高度医療を行う拠点的な病院」との連携が減る一方で、「緊急時に入院可能な病院や有床診療所」との連携が増加するとともに、「地域包括支援センター」や「居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」との連携が増加している。

歯科診療所及び薬局は「日常の健康管理を行う身近な医療機関」が最も多かった。歯科診療所は「他の歯科診療所」や「救急医療や高度医療を行う拠点的な病院」「訪問看護ステーション」等、また、薬局については「訪問看護ステーション」や「地域包括支援センター」、「居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」等、前回の調査と比べ新たな連携が見られた。